

# ツーリズムEXPOジャパン2018

## ジャパン・ツーリズム・アワード／ウェルカム・レセプション／主催者会見



第4回「ジャパン・ツーリズム・アワード」受賞者の皆さん

### ジャパン・ツーリズム・アワード 地域連携による ブランドづくりで大賞

開会式に続いて行われた第4回「ジャパン・ツーリズム・アワード」の表彰式では、大賞、優秀賞、エクセレントパートナー賞に加え、DMO推進特別賞、ICT活用特別賞、UNWTO倫理特別賞を受賞された皆さんが登場して表彰を受けました。

「地域連携DMOによる新たなブランドづくり」「真白き世界に隠された知恵に出会う」で大賞を受賞した一般社団法人雪国観光圏は、雪国文化をブランドの軸として、複数の市町村を回遊する新たな需要の開拓を推進。持続可能な地域経営の取り組み

みで成果を挙げている点、明確な顧客ターゲットを設定し、顧客ニーズにマッチした商品開発や品質管理などを徹底している点が評価されました。

雪国観光圏の井口智裕代表理事は、「広域での取り組みは大変な困難が伴うものの、100年後も『雪国』でありたいという思いを持ったメンバーを中心に、10年間続けてきたことが雪国観光圏の強みである」と受賞コメントの中で話しています。

### ウェルカム・レセプション 石井国交相がTEJに 「大きな期待」

「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2018」の参加者関係者らが一堂に会したウェルカム・レセプションでは、日本政府観光局(JNTO)の清野智理事長が冒頭で

この夏に日本を見舞った地震と豪雨災害に対する世界各国からの支援に謝意を表明。さらに、来賓として挨拶した石井啓一国土交通大臣は、「国際観光交流には、経済活性化だけでなく、相互理解の促進や外国人目線による地域の魅力再発見という重要な意味がある」と指摘。「海外・国内訪日の旅行関係者が集う世界最大級の旅の祭典であるTEJ2018が、観光先進国の実現に資するものとなることを大いに期待したい」と語っています。

全国旅行業協会(ANTA)会長を務め



JNTOの清野智理事長



自民党の二階俊博幹事長

る自民党の二階俊博幹事長も会場に駆けつけ、「観光振興のために力を注いでいきたいと考えており、皆さんの協力をお願いしたい」と挨拶しました。

またこのレセプションには菅義偉内閣官房長官からも祝辞が寄せられ、その中で「自然災害から早期に復旧し、多くの人々が日本の津々浦々を訪れ、地域も元気になるよう政府としても全力で取り組んでいく」と強調されています。

### 主催者会見 観光交流による地方創生の 効果を全国に波及

基調講演に続いて行われた主催者記者会見で、TEJ2018実行委員会の委員長を務める田川博己JATA会長は、「海外・国内・訪日の『三位一体』型総合観光イベントとしての完成形をお見せする」と説明。「観光で地域創生を！」をテーマに掲げるフォーラムの意義や展示商談会による地域への誘客効果を生み出すイベントとする決意などを述べました。また、「観光による災

害復興」がツーリズム産業の果たすべき大きな役割であることにも言及し、被災地への送客が復興への応援になるという考え方を改めて強調しています。

会見に同席した国連世界観光機関(UNWTO)のズラブ・ポロリカシユヴィリ事務局長は、ツーリズムの発展にテクノロジーやイノベーションを活用することもUNWTOの優先課題となっていることを紹介し、「UNWTOによる具体的な戦略の展開において、日本は必ずや重要なプレーヤーとなってくれるだろう」と述べ、TEJの成果にも大きな期待を示しました。

田川会長は、TEJが来年、大阪で開催されることについて、「観光交流による地域創生の効果を全国に波及させたい」と意欲を表明しています。



主催者会見後のフォトセッションに臨む主催3団体トップとポロリカシユヴィリUNWTO事務局長(右から2人目)